

声帯ポリープ

院長

「声帯ポリープ」というテーマにしましたが、え～なんで？と思われる方もいるかもしれません。

CLINIC NEWSには様々な目的や意味があります。医療・医学情報、子育ての情報を提供することが一番ですが、時として自慢話や、人生の記録を残すこともひとつです。自慢話はうれしいこと、それに引き換え記録は辛いことを載せることがあります。そんな記事としては、1994年7月号「入院」、2001年4月号「怪我してわかったこと」、2011年4月号「東日本大震災」などがあります。「入院」では、開業1年目にA型肝炎で1.5カ月入院し、入院患者として肉体的にも精神的にも辛かったこと。「怪我してわかったこと」では、スキーで息子と張り合い骨折したあと、整形外科医の判断で混乱し、手術後の激痛に我慢していたことなどを記事にしました。確かに自分の病気や怪我の話ですが、入院して患者さんの立場や想いを知るきっかけとなりました。

さて、声帯ポリープに話を戻しましょう。医者の不養生という諺がありますが、意味をご存知でしょうか。調べてみると次のような解説が出てきます。「医者は患者に養生の大切さを説くものだが、案外と自分自身は注意していないこと。『風流志道軒伝』には「医者の不養生、坊主の不信心」とある。不信心な坊主は名僧にはならないが、不養生の医者が必ずしも藪医者というわけではない。医者に限らず、専門家とされる者は、かえって逆のことをしがちである。」(故事ことわざ辞典)

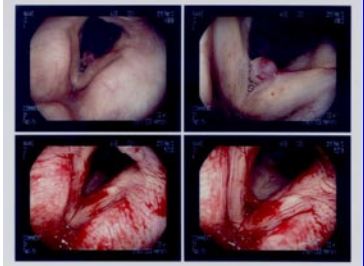
昨年11月頃に咳が止まらない時期があり、12月にのどの痛みとともに熱が出てさらに咳がひどくなりました。そのころから声がかすれるようになり、喋るに連れて痰も絡むようになりました。診察中に「カゼですか、お大事に」といわれることも多々ありました。日中は診察で1日中喋り、夜は夜で会議や忘年会も立て続けにあり、声が枯れるのも仕方ないと高を括っていました。しかし、年末年始休暇でお大人しくしていたにもかかわらず、全く改善の気配がありません。年明けから新年会が始まり、さらに

声枯れがひどくなっていきました。

それこそ医者の不養生ではありませんが、何ヶ月も声枯れが続くと“喉頭がん”が頭をかすめていたことは事実です。別に声枯れがあっても痛くもないし生活に支障をきたすこともない。小さな不安を抱えていながら耳鼻科で診てもらおう程でもないと言いに言い聞かせていました。しかし切っ掛けとは不思議なもので、婦長はじめスタッフから“先生の声枯れが心配。私たちのためと思って診てもらってください。”の一言で耳鼻科を受診することにしました。確かに家族からも“診てもらったら”の言葉がありました。身内の言葉より他人の言葉の方が強く感じることを改めて感じました。

さて、まずは世話になっている耳鼻科で、ファイバーで覗いてもらいました。診断は「声帯ポリープ」でした。耳鼻科医曰く、“やはり取った方がいいので病院を紹介します。見た目では、悪性の可能性はほぼないと思いますよ”。1月末の木曜午後労災病院耳鼻科で診てもらい、「声帯ポリープ」の診断で2週間後切除することになりました。手術を心配するのが普通かもしれませんが、一番最初に浮かんだのは“休診?”でした。普通は全身麻酔での手術ですが、労災病院では表面麻酔だけで切除できる数少ない病院のひとつです。さて手術当日、特段の準備も無く昼食を普通に済ませて労災病院へ。外来の処置室で点滴もせず、ファイバーで覗きながら僅か15分程度で終わりました。ファイバーを入れられて鼻は痛い、引っ張られる舌は痛かった分だけ、余計なことも考えずにあっという間に終わってしまった気持ちでした。金曜日と土曜日休診にして皆さんに迷惑を掛けたのは、切除後は声を出さないようにとの理由でした。声は出せないけど体は元気なので、土曜には変装(冗談ですが)して映画に行ってきました。患者さんに見られないようにと気を遣いながらの無言の行動は思った以上にストレスを感じました。週明けから3日間は筆談で診察に当たり、これまた皆さんにはご不便をお掛けしました。

医者の不養生の解説のなかで“不養生の医者が必ずしも藪医者というわけではない”とありましたが、不養生が故に病気になっても、その結果患者さんの心理を理解できれば、医者の不養生もいいものかもしれません。お陰様で悪性の可能性もなく、以前の美声(?)に戻りました。休診に関してのご理解とご協力、そしてお見舞いありがとうございました。



3月のお知らせ

・震災から4年

3月11日で震災から4年目を迎えます。
犠牲者のため14:46黙祷を捧げましょう。

・栄養児相談

18、25日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料



読者の広場

先月のメールはちょっと少なめで6通でした。まずは、はじめて熱性けいれんを経験した泉区の熊谷さんからのメール。「今日見ていただいた、熊谷心奈の母です。今日は本当にありがとうございました。3人目にして、初めての熱性痙攣。初めての救急車。動揺してしまいました…。体の震えをこらえつつ、心奈を抱いて行きましたが、クリニックの前で待っていてくれた師長さんに声をかけていただき、落ち着きを取り戻すことができました。そして、先生やスタッフの皆さんの顔を見て本当に本当にホッとしました。土曜日の午後診にいただけることがこんなにありがたいことなんだと、改めて実感した1日でした。先生がいつもおっしゃっている『安心』をいただいて帰宅することができ、本当に感謝しております。おかげさまで心奈も今のところ静かに眠っています。まだ熱がすっかり下がるまでは不穏もありますが、先生の顔を思い出しながら、日曜日を乗りきりたいと思います。長くなりすいません。また娘達が具合悪くなったときは、『安心』をいただきにまいります(^-^)。土曜日の午後のはじめての熱性けいれんで救急車で受診しました。熱性けいれんには驚き慌てたかも知れないけど、クリニックが開いている時間だったからラッキーと考えようと伝えました。文字通りクリニックが与えるのは、「お母さんの不安・心配の解消」＝「安心」ですね。



続いては宮城野区の沼田さん。「先生、ご無沙汰をしております。沼田 陽向の母でございます。最近娘も成長をして、すっかり丈夫になり、予防接種でしかお逢いする機会がなくなりました。少し寂しいような、でも元気に成長している証拠ですね。インフルエンザも今のところセーフです。ところで、先生声帯ポリープ大丈夫ですか？ 声が出せないと言うことは本当に辛いですね。実は私も昨年、たまに声枯れがするのです。私の場合、機能性発声障害とい病名ですが、どこを調べても異常が見あたらぬ心因性のものらしいです。声を使う職業でもなく、事務的の仕事です。心当たりはおしゃべり位(笑)喉に力を入れようとするから声が出づらくなる。それは、突然やってきて、暫くすると治るの繰り返しです。話せない事が一番辛いです。相手に自分の気持ちをうまく伝えられない。もどかしいです。先生のおっしゃる通り、話せない方の気持ちがよくわかります。自分が病気になってよくわかりました。先生も暫くはお辛いと思いますが、無理せずゆっくり回復してください。お大事に。予防接種でしか逢えないのが淋しいとは、医者冥利です。さらに同じような苦勞の方からお見舞いを頂くことは嬉しいことです。一面にも書きましたが、苦勞は同じ立場でないと理解が難しいものです。こちらからも、「お大事に!!」。

続いては青葉区の阿部さんから「いつもお世話になっております。阿部みりが、夏樹の母です。美声に戻ったことで良かったです!お休みなさるといメールから、ポリープ切除かなあと思ってましたが…。考えただけでドキドキです。まだ、痛いのでしょうか? 代わりのきかないお仕事、とても大変なことだったと思います。私は、4、5回吸入に通い、〇〇先生が診察してくださり、声帯はきれいになったと言われました。ここ数日喉がとても痛いので、実感が薄いのですが…。喉のお薬がなくなったのと、花粉症のご相談もお願いしたいので、明日か来週伺いますのでよろしく願います。夜分に失礼しました。美声といわれるのはうれしいことですが、本当に美声なののでしょうか(笑)。相談を受けたので、自分が診てもらった耳鼻科を紹介しました。こちら、「お大事に!!」ですね。



最後は今月に入ってからの青葉区の早坂さんから。「川村先生～いつもお世話になっております。早坂嘉音哉の母です。先日(予防接種の時)、受付で、嘉音哉の「アンパンマンキッチン」を小学校入学をきに処分するので、もしクリニックで使えるなら…と話したのですが、後程風邪の診察で伺うので持参します。先生確認してもらえますか!?(^o^;)もし院内で相応しくなければ、持ち帰ります!! 宜しくお願い致します。キッチンセットありがとうございます。こうやって思い出があるものが、別な場所に残るということも大切なことなのでしょう。患者さんたちもよこんでくれると思いますよ。皆さん大事にに使ってください。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、500 人を越えるお母さんが登録。右上の QR コードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として Twitter、Blog「子どもクリニック四方山話」、Facebook ページ、YouTube にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Twitter

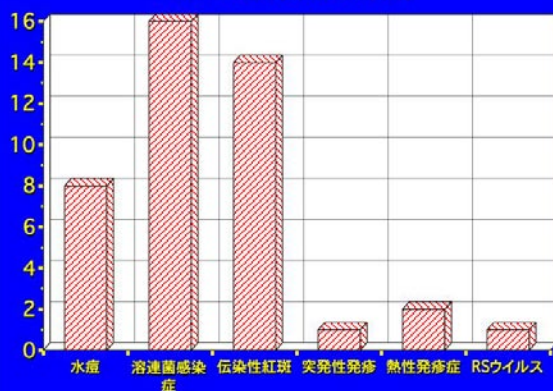


Facebook



Blog

2月の感染症の集計



インフルエンザの流行に関しては MailNews や F.B. で仙台市と全国の流行状況を提供しています。先月のインフルエンザは 33 人でほぼ終息です。相変わらず溶連菌感染症も多く、季節外れの伝染性紅斑(りんご病)が大流行中です。水痘も少し増加した以外には、感染胃腸炎も相変わらずみられますが、ワクチンの影響なのか口タウウイルスは少なく、ノロウイルスが優位です。

編集後記

声帯ポリープ切除に関しては、休診で迷惑を掛けただけでなく、ご心配お見舞いを頂きありがとうございました。切除を受けている時の不安は医師でも大きいものです。医師だから余計に弱音ははず、不安があっても大丈夫な振りをするしかありません。術者の方も相手が医師だからプレッシャーがあり、自信がなければ直視下手術はできません。それが信頼関係と安心です。こんな経験を通して患者さんの気持ちを理解することは大切なことなのでしょう。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!